

〈第Ⅰ期〉〈第Ⅱ期〉につづき、〈第Ⅲ期〉を刊行。

初等教育実験学校報告書1から12（昭和三六年～四〇年発行）を収録。特設道徳・特別教育活動による人間形成と学習指導の「能率化・効率化」を重視する方針を示す重要資料を復刻！

水原克敏 編・解題

【編集復刻版】

戦後改革期

文部省実験学校

資料集成

全3巻

〈第Ⅲ期〉

◎体裁——A4判／上製本／総1、228頁

◎揃定価——本体75、000円＋税

2018年5月刊行

全Ⅲ期完結！

不二出版

▲資料1（1961年7月）

初等教育実験学校報告書 1

小学校  
道徳の評価

1961

文部省

◎復刻によせて

水原克敏

昭和三三年度学習指導要領改訂は、教育課程の四領域化（教科・道徳・特別教育活動・学校行事等）によって、道徳教育の特設と特別教育活動等の設定によって人間形成を重視すること、かつ、系統主義カリキュラムと科学技術教育によって「能率化・効率化」を企図すること、という二大方針を打ち出した。

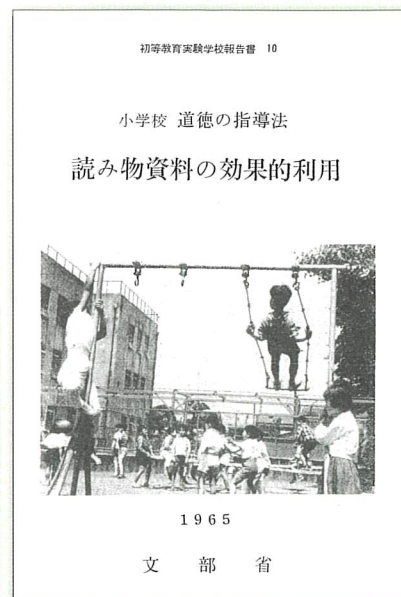
道徳教育は、政治的文脈から唐突に特設されたので、その具体化を図るためにカリキュラムと教育方法の開発が急がれた。本資料集成収録資料一二件のうち三件が道徳教育、さらに特別教育活動についても三件で、特別教育活動を通じた人間形成が追究されている。これまで生活指導のカリキュラムによって生徒指導が展開されてきたが、計画的な生徒指導は、特設道徳に委ねられることになった。ただし、道徳教育が様々な事情により期待通りには展開されなかったことは周知の通りである。

そのほか、文部省唱歌の事例案を提案した音楽、合理的で人間的な生活を求める家庭科（すまい）なども、時代背景との関係で興味深い役割を求める実験的研究がなされた。

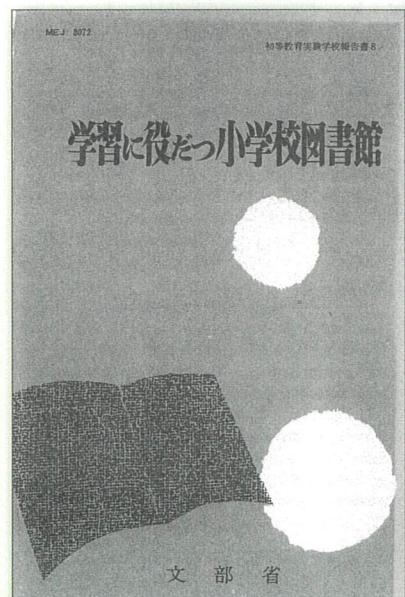
他面、系統主義カリキュラムと科学技術教育による「能率化・効率化」重視によって、日本の経済復興を支える学習指導法の開発が目指された。収録資料に共通するキー・ワードとして「能率化・効率化」のタームがたびたび登場するのが、今回の報告書の大きな特徴である。



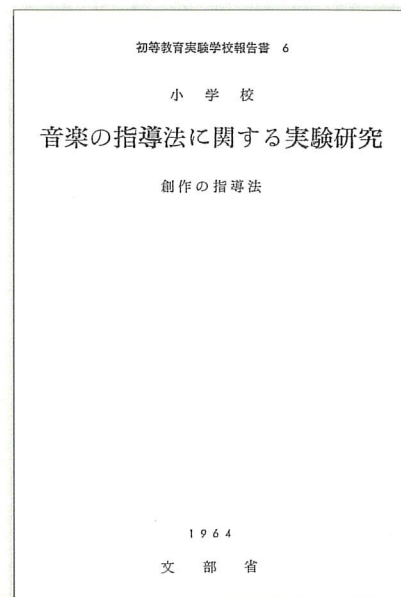
巻	資料名	発行所	発行年月日
(初等教育実験学校報告書)			
第1巻	1 小学校道徳の評価	東洋館出版社	1963(昭和38)年5月20日(三版) [初版1961年7月20日]
	2 小学校特別教育活動指導計画のあり方	教育図書	1964(昭和39)年6月1日(五版) [初版1962年]
	3 小学校音楽の指導法に関する二つの実験研究	音楽教育図書	1963(昭和38)年6月20日
	4 小学校道徳指導計画改善の観点	教育図書	1963(昭和38)年7月5日
第2巻	5 小学校クラブ活動の効果的な運営	教育図書	1964(昭和39)年1月5日(再版) [初版1963年7月5日]
	6 小学校音楽の指導法に関する実験研究——創作の指導法	大蔵省印刷局	1964(昭和39)年6月15日
	7 小学校家庭科すまいの領域を中心とした学習指導法の研究	教育図書	1964(昭和39)年6月10日
	8 学習に役立つ小学校図書館	東洋館出版社	1965(昭和40)年7月10日(再版) [初版1964年5月30日]
第3巻	9 作文の学習指導	教育図書	1965(昭和40)年3月1日
	10 小学校道徳の指導法 読み物資料の効果的利用	東洋館出版社	1965(昭和40)年6月1日
	11 小学校児童会活動運営の実際	東洋館出版社	1965(昭和40)年6月1日
	12 児童の実態に即した学習指導法の研究——特に下学年の理科指導について	東洋館出版社	1965(昭和40)年10月5日



▲資料10 (1965年6月)



▲資料8 (1964年5月)



▲資料6 (1964年6月)

はじめに

わたくしたちは、文部省理科実験学校として昭和36年以来、その主題である児童の実態に即した学習指導法について、とりくみ、ひとすじに実践研究を続けてきた。

この本は、その間におけるわたくしたちの真しな実践の記録である。わたくしたちの日常の教育活動は、理科だけではない。算数あり、国語、社会、体育あり、特別教育活動ありといったように、きわめて多岐になっている。しかしそれらがひとりひとりの児童の内部で統一されていくことを思うと、わたくしたちの学習指導の方法についても、児童がわかるという仕組み、すなわち、すべての学習経験が統合され、しかも、そこから、新しいものを生み出す基盤ができていくということを求める立場から、考えられなければならないであろう。

したがって、このような立場から計画されたわたくしたちの研究は、理科という教科の窓を通して児童のわかり方の追究をするものだとしてもよいかも知れない。

このことは、実は、理科だけに限ることではなく、すべての学習指導を貫く考え方としてよいと確信している。

児童の実態に即するとはいかなることか。わたくしたちは、児童の見方考え方を想定する場合、それは何によってどのようにとらえたらよこの本は、それにじゅうぶんに答えているものと思う。児童の見方がより広く深くより確かになっていくための練習の場は、どのようされなくてはならないか、児童の自然認識の尺度はどうあったらよこのような点についても、できるだけ児童の実態に即して記述したである。

▲資料12「児童の実態に即した学習指導法の研究」(1965年10月)

▼資料2「小学校特別教育活動指導計画のあり方」(1962年)

目次

まえがき  
はじめに  
I 研究のあしあと  
II 特別教育活動についての立場  
1 特別教育活動指導計画の基盤……………5  
2 特別教育活動の指導計画に関する問題……………12  
III 特別教育活動の指導計画  
1 指導目標……………38  
2 内 容……………39  
3 児童会活動……………39  
4 学級会活動……………42  
5 時間配当と週時数……………46  
IV 児童会活動の指導計画  
1 児童会活動と児童週番活動……………49  
2 代表委員会の指導計画……………68  
3 部の活動の指導計画……………97  
V 学級会活動の指導計画  
1 学級会活動の指導方針……………134  
2 年間指導計画……………135  
3 評価についての考え方……………145  
4 話し合いの活動の計画……………146

学習指導要領を手がかりとして、どのような読みとり方をするか、わたくしたちが苦心して歩いたところを忠実に記述した。素材の検討、教材としての位置づけ、さらには教材の構造化、目標の具体化等は、教育専門職として、わたくしたち自らの手で、どうしても究めてかからなくてはならないことである。

学習指導の考え方、順序、方法等について、ひとは、目方方式などと称しているとのことであるが、わたくしたちは、この研究で、理解の筋道を明らかにしたけれども、何々方式などと自ら固着した考えをもってはいない。わたくしたちにとって現在これが最善のものではあるが、さらに検討改善を加えなくてはならないと思っている。

このような実践研究は、数多くの学校が長期にわたって、同じ主題で同じ方法で協力しあえるような共同研究の態勢をととのえて、有効で、確かな研究資料が得られることになるのである。わたくしたちもまた、千葉県の実験小学校、東京都の有馬小学校、弦巻小学校、下小岩小学校、大阪府の中豊島小学校等多くの学校の協力によって研究を進めつつある。学校における教育方法学は、このような共同研究を押し進めることによって、初めて生み出されるのではあるまいか。わたくしたちは、そのような夢を抱きつつ努力を重ねているのである。

この本をまとめるにあたって、文部省実験学校(理科)研究期間、担

道徳指導計画改善の観点

3年 道徳の時間の主題と他領域の教育活動との関連表

月	主 題 名	内容番号 中 心 副 心	指導上関連する教育活動 (各教科, 特活, 行事等)	指 導 上 の 留 意 点
4月	友だちどうし 私たちの教室	26 7 27 4 2 20	特5(中4) 特1(中2)	
5月	学級会 明かるい心	2 14 15 3	特2(中2) 児童委員選挙 特8(中3) 行 こどもの日	・明るく協調的な人間形成。
6月	フランダースの犬 私の生活表	16 9 17 6 20 29	特9(中3) 行 緑の週間 愛鳥週間 時の記念日	・動植物の愛護の実際を。 ・時間のたいせつさを自分の生活へ
7月	けんきゅうノート 夏の健康	21 18 22 1 29	行 夏休み作品展 国語 楽しい工作 行 交通安全旬間 理(3)からだとしせい	・夏休みの作業の実際化に。 ・日常実践の徹底。
9月	としよりの話 よごれた遊園地	25 35 32 7 31	行 老人の日, 勤労感謝の日 行 えんそく	・行事の意義を深める。 ・公共物の扱いの実際を実践させる。
10月	人の気持ち私のかんがえ	7 24 28 8 11	特5(中1) 特2(中1)	
11月	まごころ	10 12 19	特5(中3) 国(3のII) げき	・正直であることのたいせつなこと。
12月	ピノキオの行かないおこづかいのゆくえ	11 9 13 5 20		
1月	エチケット わたしはほんの人になりたい	3 14 34 19 12 23	特7(中4) 特6(中2) 行 読書週間	・伝記物を事前指導として読ませて道徳の時間の用意しておく。
2月	小さなしんせつ 人のとくちよう	24 7 26 18 13 19		
3月	いろいろな国の人 少年金次郎	36 7 35 31 12	行 国旗制定記念日	・国旗に対する考え方を道徳の時間に深めるために事前指導とする。

4年 道徳の時間の主題と他領域の教育活動との関連表

月	主 題 名	内容番号 中 心 副 心	指導上関連する教育活動 (各教科, 特活, 行事等)	指 導 上 の 留 意 点
4月	学級のきま 勉強と遊び	29 14 2	特3(中1) 夏休み 特3(中2)	・学級会, 係り活動, 日常生活等で実践をめざす。 ・日常生活の指導へ発展しそれが夏休みへの自主的生活に

▲資料4「小学校道徳指導計画改善の観点」(1963年7月)



〔編集復刻版〕

戦後改革期

# 文部省実験学校 資料集成

〔第Ⅲ期〕

全3巻

◎編・解題——水原克敏（早稲田大学教育・総合科学学術院教育学研究科特任教授  
東北大学名誉教授）

\*解題は第1巻巻頭に収録

◎体 裁——A4判／上製本／総1、228頁

◎揃定価——本体75、000円＋税

ISBN 978-4-8350-8202-8

## 関連図書

水原克敏 編・解題  
**戦後改革期  
文部省実験学校資料集成**  
〔第Ⅰ期〕 全9巻

昭和二六年以前の文部省実験学校の報告書を中心に、関係する実践記録と文部省による調査資料・学習指導要領編修会議・教育課程審議会記録等を含め三五点を収録。カリキュラム史、教育実践史研究に必須の資料であり、これらによって、戦後改革期の文部省が、実験学校を中心としたような新しい学校教育を創ろうとしていたのか、その内実を把握することができる。

体 裁ⅡA4判・上製・総3、994頁  
揃定価Ⅱ本体225、000円＋税

水原克敏 編・解題  
**戦後改革期  
文部省実験学校資料集成**  
〔第Ⅱ期〕 全6巻

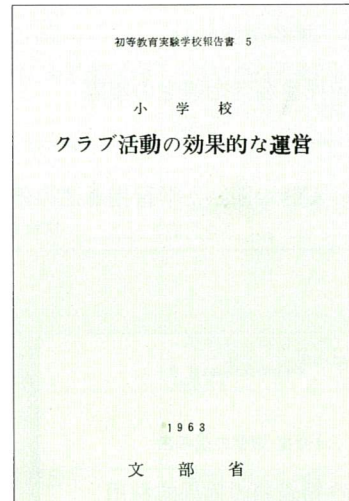
昭和二六年学習指導要領改訂以降、昭和三三年改訂に至る過程の文部省初等教育実験学校の研究報告書及び研究発表要項を収録。この時期の実験学校の成果は戦後改革期の経験主義教育から系統主義教育への転換を示すもので、教科内容の系統性を確保して能率的で効果的な教育を目指していたことが確認できる。

体 裁ⅡA4判・上製・総2、504頁  
揃定価Ⅱ本体150、000円＋税

須田将司 解説  
**戦後新教育・「実力の検討」  
実践資料集**  
全4巻

戦後新教育の「花形」と言われた「社会科」。戦前以来の報徳教育を土台に形作られた神奈川県足柄上郡福沢小学校の「福沢プラン」は、社会科の創設・推進者の一人であった石山脩平をはじめ多数の研究者が関わり、全国から注目を集めた。当資料集は、戦前期の資料から一九四六年段階の井上喜一郎校長による草稿メモ類、そして一九四八年以降に福沢小学校が作成した『実力の検討シリーズ』等を収録した。

体 裁ⅡB5判・上製・総2、836頁  
推 薦Ⅱ影山清四郎・梶山雅史  
揃定価Ⅱ本体98、000円＋税



▲資料5（1963年7月）

表示価格はすべて税別

不二出版

〒112-0005  
東京都文京区水道2-10-10  
TEL 03-59981670  
FAX 03-59981670  
振替 001600294084